NEWS RELEASE

各位

株式会社アイ・ピー・エス

2019 年 8 月 26 日

SHINAGAWA LASIK & AESTHETICS CENTER CORPORATION（以下 SLAC）が、BPI キャピタル社との間で、上場準備に向けたアドバイザリー契約を締結

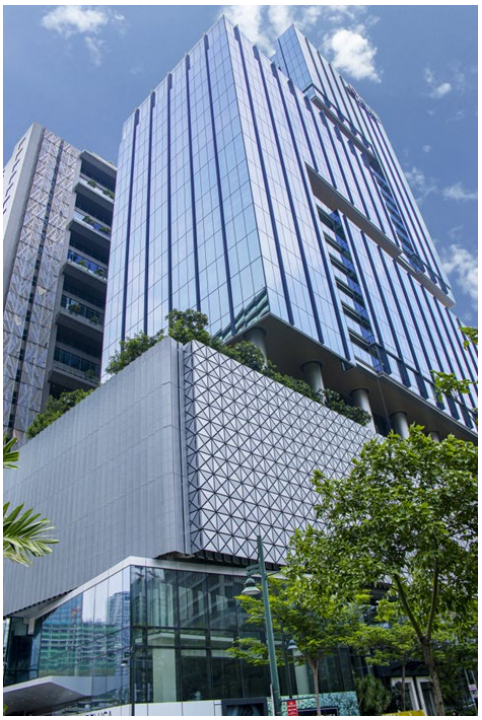
SLAC が、予防医療の分野に進出するのに必要な資金を調達するために、フィリピン証券取引所への上場の準備を開始

1. 契約内容について

2019 年 8 月 23 日、当社子会社 SLAC は、Bank of Philippine Islands（注）傘下の BPI キャピタル社から、上場準備のために必要な助言をもらうために、同社との間で上場とファイナンスに関するアドバイザリー契約を締結しました。

2. 背景

SLAC は、現在マニラ首都圏地域に 2 つのクリニックを運営し、主にレーシック手術（近視矯正手術）のサービスを提供しております。フィリピン経済の経済に伴う所得水準の向上などにより、レーシック手術の需要は大きく、今年度内に 3 番目のクリニックを開設する準備をすすめております。



フィリピンでは、経済成長・所得水準の向上を背景に、医療需要の拡大、医療事業の魅力が高まっており、低料金の医療事業に、異業種の大手資本が進出するなど、業界の動きも活発化しております。そして経済成長の中で、成人病のリスクは以前より高まっており、その兆候を事前に発見し、結果を防ぐといった予防医療の分野は、需要が大きくなっております。

予防医療につきましては、日本では企業に義務付けられた法定の健康診断もあり、画像による分析の経験があり、成人病の兆候を発見したりすることは、非常に優れていると言われております。

またそうした健診のクオリティの高さから、日本で人間ドックを受けることを主目的に日本に訪問される外国人の方も増えており、日本の人間ドックに対する信頼は大きくなっております。

そこで SLAC は、人間ドック・健診などの画像診断の分野への進出を検討しております。

そして検査・診断に必要な機器を購入するため資金調達するため、フィリピン証券取引所への上場を計画しており、これまで将来引受人となる金融機関の選定を行っておりました。

今後は、より大きな市場で、日本の技術を持ち込んだ独自の医療サービスを展開していくことを進めてまいります。

（写真は、3 番目のクリニックが入居する予定のビル）

（注）Bank of Philippines Islands 総資産規模フィリピン国内 4 位　1851 年に設立されたフィリピン最古の銀行、El Banco Español Filipino de Isabel II を前身とする銀行。アヤラ財閥の中核的な企業の一つ。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号　東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役　宮下　幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 室　03-3549-7719　ir@ipsism.co.jp